

## 1 基本方針

# スポーツの力が盛岡の未来を創る

「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、すべての人々の権利」であることから、すべての市民がスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができる盛岡のまちづくりを目指します。

本市は、平成25年度（2013年度）から令和4年度（2022年度）までの10年間を計画期間とする「市スポーツ推進計画（以下「前計画」という。）」において「スポーツの力が盛岡の未来を創る」を基本方針として、「2016希望郷いわて国体・いわて大会」を契機に、市民のさらなるスポーツの定着化を図り、すべての市民がスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができる盛岡のまちづくりを目指してきました。

基本方針の実現に向けて、基本的施策として「スポーツを『する』環境づくり」、「スポーツを『支える（育てる）』環境づくり」、「2016希望郷いわて国体・いわて大会の遺産の継承」を掲げ、さまざまな施策を実施してきました。また、平成31年（2019年）3月に議員発議により制定された「市スポーツを通じた健康づくりの推進に関する条例（平成31年条例第24号）」を受け、前計画に定める「ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進」をクローズアップした「市スポーツ推進計画アクションプラン」を令和3年（2021年）12月に策定し、基本方針の実現に向けて取り組んできたところです。

前計画中に開催された希望郷いわて国体・いわて大会をはじめとする国内外の各種イベントは、大会の誘致や受入れだけではなく、事前キャンプや合宿、ホストタウンという新たなスポーツとのかかわり方を示してくれました。

一方で、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行で、日常生活は一変し、新たな生活様式と呼ばれる急激な変化も経験したこともあり、数値目標の達成は難しい状況になっています。

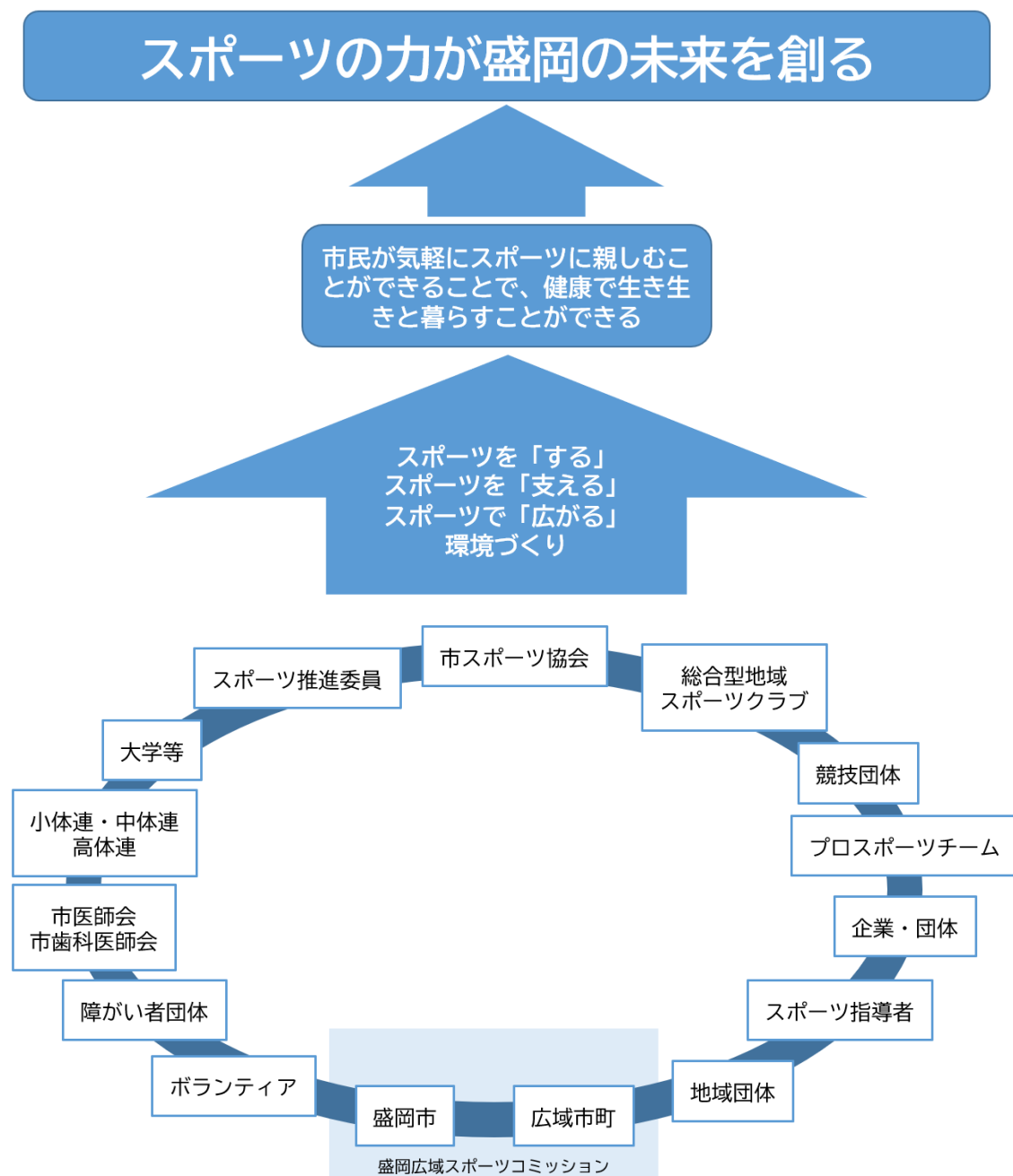
そのような中、令和4年7月の「盛岡・北上川ゴムボート川下り大会」を皮切りに、9月には「啄木の里ふれあいマラソン大会2022」、10月には「いわて盛岡シティマラソン2022」を3年ぶりに開催するなど、社会情勢の変化に対応しながらスポーツの機会を創出しています。

今後も、いまだに収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症や人口減少、少子化、

高齢化のほか、中学校の部活動を地域が支える仕組みとする「部活動の地域移行」が進められるなど、スポーツを取り巻く環境の変化は避けられません。そのような中で、本市には、未来に向けてさまざまな変化に対応したスポーツ推進施策の展開が求められます。

このことから、新しい「市スポーツ推進計画」の基本方針は、前計画で示した基本方針「スポーツの力が盛岡の未来を創る」を継承し、「スポーツを『する』環境づくり」、「スポーツを『支える』環境づくり」、「スポーツで『広がる』環境づくり」を施策の柱として、すべての市民がスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができる盛岡のまちづくりを目指します。

基本方針の実現に向けた仕組みのイメージ



## 2 施策の体系

本計画では、市民の皆さんに理解していただくよう、基本方針、施策の柱に基づき、今後5年間に取り組むべき基本的施策と具体的な施策について、次のとおり体系化しました。

基本方針	I 施策の柱	II 基本的施策	III 具体的な施策	IV 取組方針	
<b>スポーツの力が盛岡の未来を創る</b>  <small>「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、すべての市民がスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康で生き生きとくらすことができるまちづくりを目指します。」</small>	1 スポーツを「する」環境づくり	(1)身近で気軽に楽しむスポーツ活動・健康づくりの推進	①「する」場所の確保	ア 施設利用者の利便性の向上 イ 学校体育施設開放事業の推進	
			②「する」仲間の出会いの創出	ア スポーツとつながる仕組みの構築 イ スポーツについて相談できる場の設置	
			③「する」機会の創出	ア スポーツに親しむ機会の提供 イ 次世代体力・運動能力向上プロジェクトの実践 ウ スポーツによる健康増進 エ 運動部活動の地域移行に係る受け皿づくり等	
		(2)スポーツ施設の整備・充実	①計画的なスポーツ施設の整備	ア スポーツ施設の適正配置方針の見直し イ スポーツ振興基金の拡充	
			②施設の整備改修等	ア 盛岡市・都南村合併建設計画に基づいた整備 イ 市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画に基づいた整備 ウ 市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画に基づいた改修 エ その他の取組	
				①盛岡市スポーツ協会との連携強化	ア 事業運営に対する支援 イ スポーツ大会等の協働推進 ウ スポーツ指導者の確保・育成等 エ スポーツインテグリティの普及
					②競技団体等との連携強化
		2 スポーツを「支える」環境づくり	(1)スポーツ団体等との連携強化	③スポーツ推進委員との連携強化	
				④総合型地域スポーツクラブとの連携強化	ア クラブの設立や事業運営への支援 イ スポーツ推進事業への共催・後援 ウ 市民への周知拡大
				⑤障がい者団体との連携強化	ア スポーツ大会等への協力 イ 情報提供の促進
	⑥医療関係団体等との連携強化			ア スポーツ医・科学の取組への協力 イ スポーツ医・科学の普及	
	⑦企業、学校等との連携強化			ア 研究成果や人材等の活用 イ 企業への大会支援の要請 ウ 盛岡市立高等学校の部活動の推進	
				⑧ボランティアとの連携強化	ア ボランティアに関する知識の習得 イ ボランティアとのネットワーク構築
	(2)プロスポーツ等との連携				①チーム力強化への支援
				②市民に愛されるチーム作りへの支援	ア 地域活動等への参加促進 イ 市民による応援への支援
	3 スポーツで「広がる」環境づくり	(1)スポーツによる交流人口の拡大	①大会・合宿の誘致	ア 競技団体等への誘致活動 イ 大会主催者への運営支援 ウ 合宿補助制度の充実	
			②スポーツツーリズムの推進	ア 広域資源を活かしたスポーツイベントの実施 イ 地域におけるスポーツの活用促進	
		(2)広域でのスポーツの推進及び連携	①盛岡広域スポーツコミッションとの連携	ア 事務局運営への支援 イ スポーツ情報の発信 ウ エイト・オリンピックズ・プロジェクトとの連携・協力	
			②スポーツパル事業の拡充	ア 会員募集活動の強化・会員活動機会の拡大	
			③広域圏にあるスポーツ施設の利用の連携	ア 岩手県や盛岡広域スポーツコミッションとの連携	

参考：前スポーツ推進計画の体系図（後期：H30～R4）

